

# 令和4年度第3回会議の概要

## 【令和4年度第3回会議での主なご質問・ご指摘事項】

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明等
1	【第4章4節(3)③ウ 管路の更新率(P.42・43)】 管路更新率について、R3が1.0%、H26が2.2%と差があるが、理由は。また、単年度の率を見て高い低いではなく、例えば5年間の平均という指標もあるので、表現の仕方を工夫しても良いのではないか。	現在、本町では、重要給水施設配水管の耐震化を進めているが、施工箇所をスパンごとに分けて施工することで効率化を図っているため、各年度の施工量に差が出ることとなり、管路更新率にも差が生じている。	検討	管路更新率等の業務指標について、比較、分析しやすいよう表現方法を検討します。
2	【第4章4節(3)③ウ 管路の更新率(P.42・43)】 管路更新率について、全国平均と比較すると1.0%は高い方とを感じるが、それでも更新に100年かかるという率でしかない。久御山町として望ましい更新率は、どの程度と考えているのか。	現行の経営戦略では1.5%を目標値として示しているが、今回のビジョンの見直しの中で、財源とのバランスも検討していただきながら、本目標もご審議賜りたいと考えている。	—	
3	【第4章4節(3)③「強靱」に係る業務指標(P.42・43)】 管路の耐震化を進める中で、ダクタイル鑄鉄管と水道用ポリエチレン管のどちらを主に使用するのか。管の選定については、経済性だけでなく信憑性も確認する方が良い。	基本的にはこれまでダクタイル鑄鉄管を使用してきたが、近年、近隣市町でも水道用ポリエチレン管が採用されているため、例えば、住居地域では水道用ポリエチレン管を使用し、工業地域ではダクタイル鑄鉄管を使用するなど、用途に応じて使い分けしていきたいと考えている。	—	
4	【第4章5節 総括(P.50)】 久御山町では、これまでも職員数の削減などの経費削減に努めているが、今後の経費削減の可能性について、対象となり得る分野はあるのか。	実際にシミュレーションを行い、精緻な分析をしなければ確かなことはわからないが、ダウンサイジングの可能性も検討したいと考えている。また、京都府営水道の建設負担水量の見直しによる経費削減にも期待している。	補足説明	ダウンサイジングの可能性の検討について、本日の会議で説明します。

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明等
5	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 こういった計画が出てきた以上は、今後、時間をかけてで良いと思うが、各市町の立場で、垂直統合などを支持するのかどうか、要望するのかどうか、検討が進んでいけば良いと思う。	これから久御山町水道事業ビジョン(第2次)を策定する中で、京都府の計画とも整合性を図る必要があることから、京都水道グランドデザインと京都府営水道ビジョンについて紹介させていただいた。 浄水施設の廃止(施設の統廃合)のメリット、デメリットについては、町の方からもデータなどをお示しし、それを踏まえた上で、本審議会においてご審議賜りたいと考えている。	補足説明	本町の水道施設のあり方について、本日の会議で検討案を説明し、次回会議で各パターンの財政シミュレーションをお示したいと考えている。
6	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 これから検討する久御山町水道事業ビジョンでは、京都府から下りてきた内容で作るのではなく、やはりボトムアップで策定してほしいと思う。			
7	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 久御山町からの視点で、この京都府の計画案のメリット、デメリットがどこにあるのかを住民に伝えるべき。メリット、デメリットがわからないことに加え、施設を統廃合した場合に何が起るのかもわからない。			
8	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 施設見学の際、久御山町の原水がきれいだという話があったが、そういう面では非常にもったいないと思うし、住民としては久御山町の良いものは残してほしいという思いがある。			
9	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 この計画に対してQCDSを実施し、メリット、デメリットを層別し、各構成要素の良し悪しを議論する方がわかりやすいと思う。			
10	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 今後、安全・安心を重視した場合や水道料金を低廉なレベルに維持した場合など、様々なパターンを示していただく中で、本審議会で議論していくものと考えている。			
11	【京都府営水道ビジョン(第2次)等】 財政シミュレーションも大事だが、数値化できないものをどう評価するかということも大事である。			